

パブリックコメントで提出された意見に対する考え方

「移住・定住の取組」に関する政策提言のための中間報告書についての市民意見公募で提出された意見の概要とそれに対する大分市議会議員政策研究会の考え方

意見提出期間: 令和6年8月13日～9月12日

意見提出者: 6名

意見件数: 15件

意見 番号	意見(要旨)	意見に対する大分市議会議員政策研究会の考え方
1	既に情報が集約されている「大分市移住応援サイト」をリニューアルして、分かりやすく情報を置いて充実したものにすると思う。	ご意見の趣旨については、(1)③(工夫した情報発信について)アの、「移住・定住に関する施策等について、様々な媒体を通じて広く周知し、充実した情報を容易に入手できるよう、工夫したPRを行うこと」に含まれるものとして提言を取りまとめております。
2	移住者として優先順位が高いのは、(2)仕事と(3)住居である。移住・定住にはまずは仕事と住居が整う必要があると考える。	ご意見の趣旨については、(2)(仕事に関すること)の、①就労に関するサポートについて及び②本市産業の担い手確保について、また、(3)(住居に関すること)の、①住宅に関する支援について及び②空き家の活用についてに含まれるものとして提言を取りまとめております。
3	行政にしかできないようなことに力を注いだ方がよいと考える。(2)の②農林水産業担い手へのサポートなどは行政にしかできないことだと思う。	ご意見の趣旨については、(2)②(本市産業の担い手確保について)の、「第一次産業に関する就業支援等について、制度の周知やさらなる充実について検討すること」に含まれるものとして提言を取りまとめております。
4	結婚を希望する人を支援することで、移住につながるのではないかと。	人口減少社会における様々な課題に対する取組も背景として考慮し、調査研究を進め、提言を取りまとめました。なお、参考として、現在本市では、移住・定住を考えている人に限らず、結婚を希望する方を対象とした婚活イベント等の施策を実施しています。
5	高齢化率には地域差があることから、各施策を地域の実情に沿って進めることが有効だと思う。	ご意見の趣旨については、(6)②(地域との多様な関わりや特色に応じた対策について)イの、「移住者のニーズを把握する中で、各地域の実情・特色にあった対策や情報発信に努めること」に含まれるものとして提言を取りまとめております。

「移住・定住の取組」に関する政策提言のための中間報告書についての市民意見公募で提出された
意見の概要とそれに対する大分市議会議員政策研究会の考え方

意見提出期間: 令和6年8月13日～9月12日

意見提出者: 6名

意見件数: 15件

意見 番号	意見(要旨)	意見に対する大分市議会議員政策研究会の考え方
6	他県において、転入者に対して施設の無料クーポンや一定期間入館料無料等の取組があるのは嬉しかった。子供の経験を後押しするようなことを考えてもらえるとありがたい。	議会としても、子供への支援は、移住・定住促進のための施策に限らず重要であると考えており、今後の課題と考えております。
7	大分市内ではなく、地方のほうに住居の無償・安価提供や住み心地の良さがあるのではないかな。	本市は、“ほどよく都会でほどよく田舎”というそれぞれの特徴を持ち合わせていることから、その両面の魅力を認識し、発信することにより、移住・定住につながると考えております。
8	他市の状況や県内地域の実情等も参考にしたい案件にしてほしい。	本提言を取りまとめるに当たり、他市の移住・定住に関する取組や、県内他市の調査研究も行いながら、提言を取りまとめました。
9	様々な施策とあわせて、受け入れる市民の柔軟性も求められると思う。	ご意見の趣旨については、(5)②(移住後のつながりについて)の、「地域住民や先輩移住者などと交流する機会を創出する取組について検討すること」に含まれるものとして提言を取りまとめており、交流する機会を通じて、地域住民等と移住者が協働しながら、互いに支え合うまちづくりにつながることが期待しています。
10	全ての人に対応できる施策が理想だが、市の特色を出すために分析し、ある程度対象を絞ったほうがよいのではないかな。	今回の提言において、移住・定住を促進する対象は限定するものではなく、多くの方に本市への移住を検討してもらいたいと考えております。

「移住・定住の取組」に関する政策提言のための中間報告書についての市民意見公募で提出された
意見の概要とそれに対する大分市議会議員政策研究会の考え方

意見提出期間: 令和6年8月13日～9月12日

意見提出者: 6名

意見件数: 15件

意見 番号	意見(要旨)	意見に対する大分市議会議員政策研究会の考え方
11	県内での人口の奪い合いにならないように、他市町村との協力・連携も大切だと思う。	県内の他自治体と連携もしながら、本市の移住・定住に関する取組が推進されていくことが重要であると考えています。
12	移住者の獲得も大事だが、進学や就職で市外に出ていかにする対策やUターン対策を第一に取り組む必要がある。若者が進学や就職先などの将来に希望を持てることと、本市に戻りたいという意識醸成などに取り組んでほしい。	ご意見の趣旨については、(4)(Uターン施策に関すること)の、①Uターン促進について及び②ふるさとへの愛着につながる取組についてに含まれるものとして提言をとりまとめております。
13	大学生として1番気になるのは就職であり、(2)仕事に関することは特に大切だと思う。子供のうちに実際に働いている人の話を聞く機会が増えると、より本市で働くことに興味を持ってもらえるのではないかな。	ご意見の趣旨については、(1)②(新たな魅力づくりについて)イの、「進学などを契機に都市部に転出する若年層や、移住を考える若年層などを惹きつけるため、若年層が魅力を感じるイベントや場所などの新たなコンテンツの創出に向けて取り組むこと」、(2)(仕事に関すること)の、①就労に関するサポートについて、(4)②(ふるさとへの愛着につながる取組について)の、「将来のUターンにつなげるため、祭りなどを通じた地域でのつながりづくりや、郷土に関する教育など、ふるさとへの愛着を深める取組を推進すること」に含まれるものとして提言を取りまとめております。
14	放置されている空き家が多いと感じており、空き家の再利用は移住者にとって便利だと思う。	ご意見の趣旨については、(3)(住居に関すること)の、②空き家の活用についてに含まれるものとして提言をとりまとめております。
15	公共交通機関について不便さを感じており、難しい話ではあるが、本市にきた学生や客人が本市の魅力を十分に味わえるよう、公共交通機関を充実してほしい。	ご意見の趣旨については、(6)①(移住者のニーズ把握などについて)の、「移住者のニーズを把握するとともに、移住促進施策へ反映するよう努めること」や「移住者のニーズ把握等とあわせて、移住者へのサポートについて、関係部局間で連携協力し、一体的な施策の推進を検討すること」に含まれるものとして提言をとりまとめております。